

消防団員からのメッセージ

女性消防団員からのメッセージ!

珠洲市消防団 女性団員



私たち珠洲市女性消防団員は団本部に所属し、一人暮らしの高齢者宅を訪問し防火指導を行ったり、住宅用火災警報器の設置調査や普及活動、また、火災予防週間中には、市内保育所や福祉施設へ向き紙人形劇等で、火遊びの防止及び火災の怖さを子供達に指導しています。

女性消防団員は男性消防団員とは違い、現場活動は行いませんが、消防出初め式では男性消防団員に負けず、一斉放水を実施し女性消防団員の心意気を披露しています。

今後も女性ならではの視点や心遣いで、幼児から高齢者まで幅広い世代に、防火、防災の意識を持っていただき、火災の減少や災害被害の軽減に役立てるよう努めていきます。

輪島市消防団 団本部 団員



大森 美幸

私たち輪島市女性消防団員は、平成21年1月に任命され、団本部付けで活動しています。

私たちの活動は、保育園などでの防火教室、一人暮らし高齢者宅の訪問、商店街でのチラシ配布、市祭パレードに参加する等の広報活動を主に行っています。

保育園の防火教室では、紙芝居や寸劇などを行い、子供たちも大喜びで防火防災について学んでいます。

団員は全員が仕事を持っており、思うように活動が出来ないこともありますが、これからも女性だから出来ることを中心に頑張って活動していきたいと思っています。

小松市消防団 女性分団 団員



北川 潤子

友人から勧められて、入団4年目になります。

女性分団は、災害には出動しませんが、小中学校や地域の自主防災訓練での救急講習会、高齢者宅への防火訪問、幼稚園・保育園への防災教室等、地域住民の皆様と触れ合いながらの活動を行っています。

消防団に入り、防災に携わるようになって私の中で様々な成長がありました。防災に関する知識を習得していくうちに、今ではこの知識をできるだけ多くの住民の方に伝えたいという思いが強くなっています。

安心して暮らせる地域になるように、微力ですが貢献できればと思っています。

皆さんもぜひ、私たち女性分団と一緒に活動しませんか。

野々市市消防団 第5分団(女性分団)



野々市市消防団第5分団は、平成8年6月に定員12名で発足した女性分団です。

普段は、主婦として、また働く女性として家族、職場を支える一方、消防団員として、火災予防活動や消防の普及啓発活動などを行っています。

今年は、市内9保育園・幼稚園に幼年消防クラブの防火指導として、紙芝居の読み聞かせや放水体験を行いました。また、応急手当普及員の資格を活かし、消防本部が実施する普通救命講習会において、消防職員をサポートしながら、指導にあたっています。

消防団活動は、企業の皆様のご理解とご協力があればこそです。これからも消防団をよろしくお願ひします。

若手消防団員からのメッセージ!

穴水町消防団 穴水分団 団員



干場 聖司

「地元が好きなら消防団に入って一緒に頑張ろう。」が私からのメッセージです。

消防団員は火事があったら出動する。地震があったら出動する。自分が仕事をしていても、休みでも。何かあったら出動、出動。ちょっと大変です。

でも、火事のあとに「ありがとう」や行事の時に「頼もしいわ」って言われると、やっぱり嬉しいですね。

消防団に入団して、数年。一人前と言われるのはまだまだ先ですが、地元の仲間や住民の方といっまでも笑顔で、この町で暮らしていきたい。

あなたも、そんな思いがあれば一緒に消防団で頑張ってみないか?

能登町消防団 柳田分団 団員



澤田 和哉

私が入団するきっかけとなったのは、消防団の訓練を見たことです。休日に地域住民の安全のため、日々努力をしていると知った時にとても感銘を受けました。私も愛町心がある1人の町民として、能登町を守る一員になりたいと思いつきました。

入団してからは、町内巡回やポンプ車の取扱訓練などを行っています。災害現場に出場したあと、見守っていた地域の皆さんの「ありがとう」や「ご苦労様」の言葉はとても励みになります。

皆さんも地域みんなの幸せを守るため、一緒に頑張ってください。

七尾市第2消防団 熊木分団 団員



杉木 祐輔

私は、今年で入団4年目になります。入団のきっかけは、父からの要請でした。父が熊木分団分団長から七尾市第2消防団の団長になることから、私に入団するよう勧められました。

我が家では、母方の祖父も、父も消防団員で、弟も七尾鹿島消防本部職員です。幼少期から、今もそうですが、家では消防関係の話が多かったこともあり、あまり抵抗がなかったので入団することにしました。先日地域のお年寄りが行方不明になり団員として捜索に出ました。その時に家族の方から大変感謝されました。今後も地域の方々信頼される消防団員になりたいと思います。

宝達志水町消防団 第1分団 団員



濱谷 敏充

地元で就職し、上司から「消防団に入らないか?」と誘いを受け入団しました。

消防団の活動内容もわからず入団し、4年経ちましたが、今では消防団の一員としていられることに喜びを感じます。消防団員として、防災や心肺蘇生法の知識はもちろんのこと、たくさんの人とのつながりを得ることができました。大変なことは多々ありますが、その分得るものも多くあると感じます。

地元の一員として何かしたい、つながりをつくりたいと考えている方はぜひ入団してください。若い力を温かく先輩団員が迎えてくれるはずですよ。

かほく市消防団 宇ノ気第二分団 団員



中川 大輔

私は元々、消防団というものにはあまり興味がありませんでした。しかし、大学入学を期に知人からの勧めで地元の消防団に入団しました。最初は自分より年上の先輩ばかりでとても不安でしたが、みんなとても優しく接してくれたので、すぐに馴染むことができました。

学生時代は、学業や部活動、アルバイトをしており、消防団の活動に参加できない時もありましたが、「参加出来る時に来てくれればいいよ」と言われ、無理なく消防団活動に参加でき、とても有意義な学生生活を送ることができました。

金沢市第一消防団 十一屋分団 団員



川尻 真人

僕は、大学4年の時に地元の分団に入りました。

きっかけは、アルバイト先で分団の方達と話したときの「分団に入らないか?」という一言でした。

まだ就職活動や学校があり、入団しても、あまり消防団活動に参加できないかもしれないと話しましたが、分団の皆さんは「無理なくいいよ。出れるときに来いよ。」と優しい声を掛けてくれました。

入団後は、消防団活動のことだけでなく、僕の就職についても親身になって考えてくれました。そんな家族のような分団の皆さんと、これからも、地域のために頑張ります。皆さんも僕達と一緒に地域を守りましょう。

能美市消防団 根上分団 団員



竹田 憲示

私は大学生の時に消防団に入団しました。生まれも育ちも能美市であり、どうかこの地域に貢献したいという強い気持ちで活動しております。何度か実際の災害現場へも出動し、責任の重さを感じたのはもちろん、日々の訓練がいかに重要かということも学びました。

消防団というのは一つのチームです。個ではできないこともチーム一丸となることで非常に大きな力になります。皆さん、ぜひとも私たちと同じチームに入り、自分達の手で自分達の住む地域を守りませんか?

加賀市消防団 大聖寺第一分団 団員



荒物屋 和紀

私が消防団に入団し3年が経過しました。現在では「地域を守る消防団の一員だ」という実感も強まり、安全・安心のまちづくりのため、消火訓練や防災活動に取り組んでいます。

また、入団したことで、幅広い年代の団員方々と交流することができ、経験談や考え方を聞ける事から、人として大きく成長できたと思っています。

この様に、地域への貢献だけでなく、学校や職場では学べない、貴重な経験が出来ることは、消防団のとても良いところだと思います。皆さんも消防団に入り私たちと一緒に活動しましょう。